

岡崎市民病院 院内がん登録集計（2018年）

（1）登録・集計の対象

以下をすべて満たす症例について登録・集計しています。

- ①平成30年1月1日～平成30年12月31日の1年間に当院で診断された症例、または、他施設ですでに診断されて当院に初診した症例
- ②全ての部位の悪性新生物（上皮内がんを含む）、頭蓋内・脊髄・脊髄膜・馬尾の良性および良悪不詳の新生物、卵巣の一部の境界悪性腫瘍
- ③原発部位

（2）登録の定義

院内がん登録は、登録ルールである「がん診療連携拠点病院 院内がん登録標準登録様式登録項目とその定義 2016年版」に基づき登録しています。

（3）院内がん登録 全登録数の推移

全登録数の推移

	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
院内がん登録 全登録数 (括弧内は対前年差)	1150	1161 (+11)	1204 (+43)	1305 (+101)	1348 (+43)	1388 (+40)	1840 (+452)

（4）院内がん登録 集計登録数 集計目次

1. 部位別登録数 年次推移
2. 2018年 登録数上位10部位（全体・男女別）
3. 2018年 初回治療内容
4. 2018年 部位別 治療前ステージ・初回治療内容（5大がん詳細）

（5）集計結果について

部位別登録数については、1件以上10件未満の場合は、1～3件、4～6件、7～9件として表記し、10件以上は実数で表記した

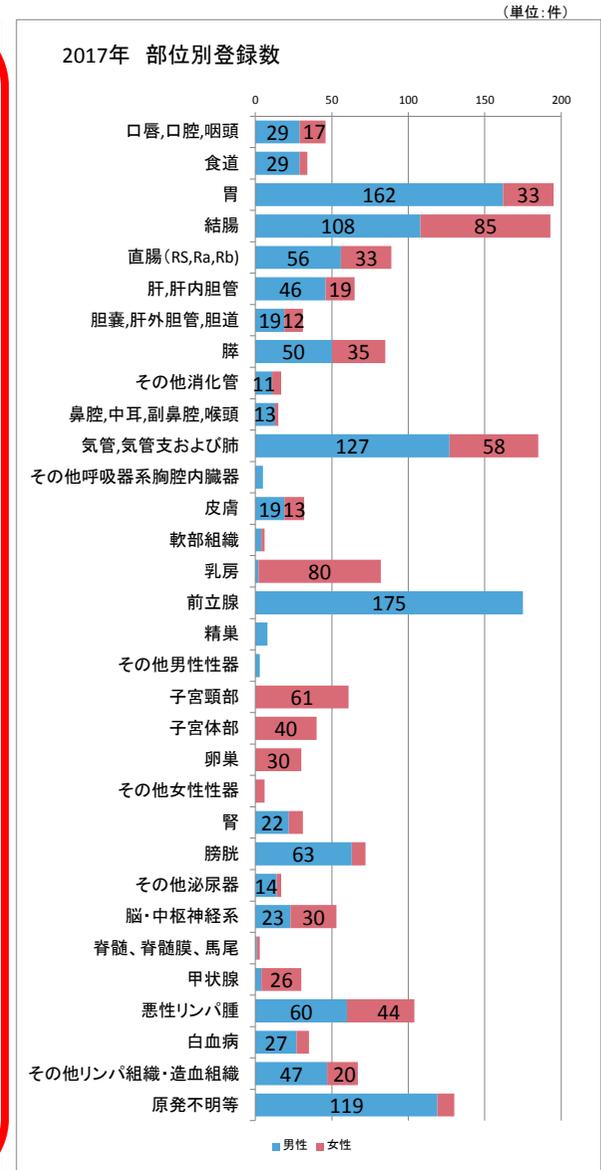
1. 部位別登録数 推移

●表は、部位別の登録数の推移です。

○2018年の登録数は1833件であり、2017年と比較し451件増加しました。

○部位別の登録数は多い順に【大腸】 【胃】 【気管、気管支および肺】 【前立腺】 【悪性リンパ腫】 となりました。

部位区分	2015 集計	2016 集計	2017 集計	2018 集計	2018 性別		
					男性	女性	
口唇、口腔および咽頭	23	42	49	46	29	17	
消化器	食道	15	19	25	34	29	(4-6)
	胃	136	146	124	195	162	33
	大腸	191	208	208	282	164	118
	(再掲) 結腸	141	156	146	193	108	85
	(再掲) 直腸 (RS,Ra,Rb)	50	52	62	89	56	33
	肝、肝内胆管	40	42	34	65	46	19
	胆嚢、肝外胆管、胆道	29	39	31	31	19	12
	膵	42	42	46	85	50	35
	その他の消化管	(4-6)	(7-9)	(7-9)	17	11	(4-6)
呼吸器 および 胸腔内臓器	喉頭、鼻腔及び中耳、副鼻腔	(7-9)	(7-9)	19	15	13	(1-3)
	気管、気管支および肺	75	86	105	185	127	58
	その他の呼吸器系および胸腔内臓器*1	(1-3)	(4-6)	(4-6)	(4-6)	0	
皮膚	57	41	21	32	19	13	
骨・軟部組織	(1-3)	(4-6)	(1-3)	6	(4-6)	(1-3)	
乳房	64	41	48	82	(1-3)	80	
生殖器	前立腺	174	182	183	175	175	該当なし
	精巣	0	(1-3)	(4-6)	(7-9)	(7-9)	該当なし
	その他の男性性器	(1-3)	0	(1-3)	(1-3)	(1-3)	該当なし
	子宮頸部	37	46	92*3	61	該当なし	61
	子宮体部	18	30	27	40	該当なし	40
	卵巣	24	19	17	30	該当なし	30
泌尿器	その他の女性性器	(1-3)	(4-6)	(4-6)	(4-6)	該当なし	(4-6)
	腎	33	32	30	31	22	(7-9)
	膀胱	96	91	78	72	63	(7-9)
	その他の泌尿器	24	17	15	17	14	(1-3)
脳・中枢神経系*2	46	39	45	53	23	30	
脊髄、脊髄膜、馬尾 (2016より追加) *3	0	(4-6)	(1-3)	(1-3)	(1-3)	(1-3)	
甲状腺	25	22	22	30	(4-6)	26	
造血器	悪性リンパ腫	38	35	50	104	60	44
	白血病	27	25	27	35	27	(7-9)
	その他のリンパ組織・造血組織	46	45	43	67	47	20
原発不明,その他	11	15	16	20	11	(7-9)	
総計	1294	1341	1382	1833	1136	697	



*1 胸膜、心臓、胸腺等

*2 脳・中枢神経系は、良性や良悪不詳の腫瘍を含む。

*3 脊髄・脊髄膜・馬尾は良性や良悪不詳の腫瘍を含む。

2. 2018年 登録数上位10部位（全体・男女別）

●登録数が多い順に上位10部位の件数と全体に占める割合を、全体・男女別で示しました。

<全体>

	部位	件数	(%)
1	大腸	282	15.4%
2	胃	195	10.6%
3	気管、気管支および肺	185	10.1%
4	前立腺	175	9.5%
5	悪性リンパ腫	104	5.7%
6	膵	85	4.6%
7	乳房	82	4.5%
8	膀胱	72	3.9%
9	肝臓	65	3.5%
10	子宮頸部	61	3.3%

<男性>

	部位	件数	(%)
1	前立腺	175	15.4%
2	大腸	164	14.4%
3	胃	162	14.3%
4	気管、気管支および肺	127	11.2%
5	膀胱	63	5.5%
6	悪性リンパ腫	60	5.3%
7	膵	50	4.4%
8	肝、肝内胆管	46	4.0%
8	食道	29	2.6%
10	白血病	27	2.4%

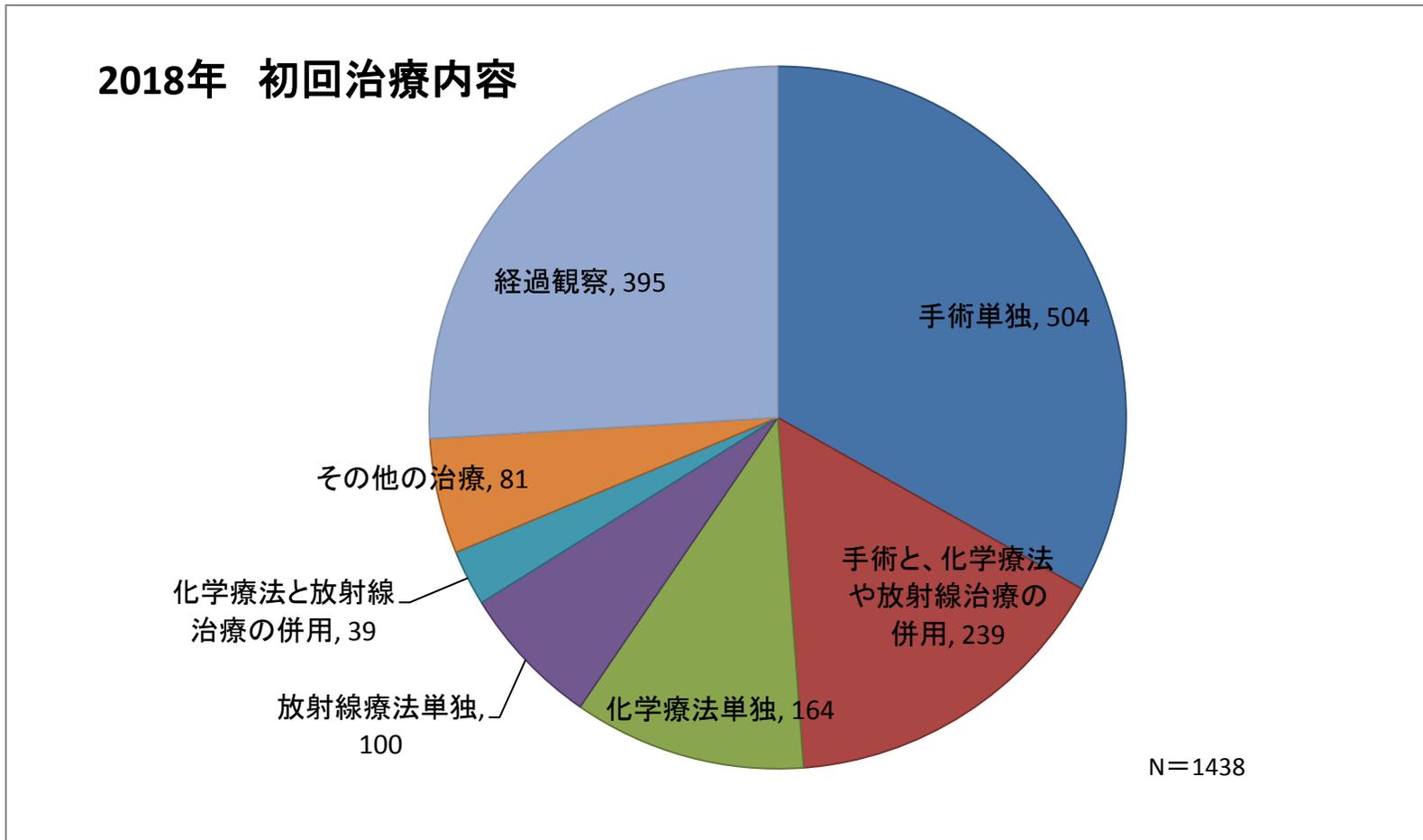
<女性>

	部位	件数	(%)
1	大腸	118	16.9%
2	乳房	80	11.5%
3	子宮頸部 ^{※1}	61	8.8%
4	気管、気管支および肺	58	8.3%
5	悪性リンパ腫	44	6.3%
6	子宮体部	40	5.7%
6	膵	35	5.0%
8	胃	33	4.7%
9	卵巣 ^{※3}	30	4.3%
10	脳・中枢神経系 ^{※2}	30	4.3%

3. 2018年 初回治療内容

- 「初回治療」が行われた症例を、主な治療（手術・化学療法・放射線療法）を治療行為別に分類しました。院内がん登録では、経過観察の症例や症状緩和目的の治療も「初回治療」としてカウントしています。

(単位：件)



・院内がん登録での初回治療とは、治療開始時点で計画された一連の治療のことで、症状・治療の進行に従って後に追加された治療などは含まれません。

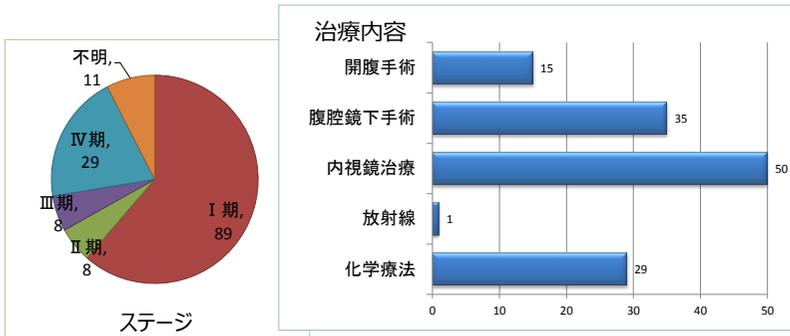
・「手術」は、開腹手術、腹腔鏡手術などの鏡視下治療、内視鏡的治療のいずれかが行われた場合です。

4. 2018年 部位別 ステージ・初回治療内容（5大がん詳細）

●わが国で罹患数の多い5大がん（胃・大腸・乳房・肝・肺）について、部位ごとに治療前ステージ別登録数です。また、各がんにおける主な治療の内容です。

(単位：件)

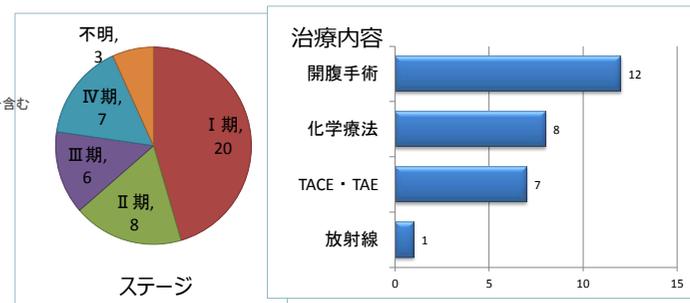
胃



胃がん ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明	計
胃がん ステージ	89	8	8	29	11	145

治療 内容	開腹手術	腹腔鏡下 手術	内視鏡 治療	放射線	化学療法	経過観察
治療 内容	15	35	50	1	29	30

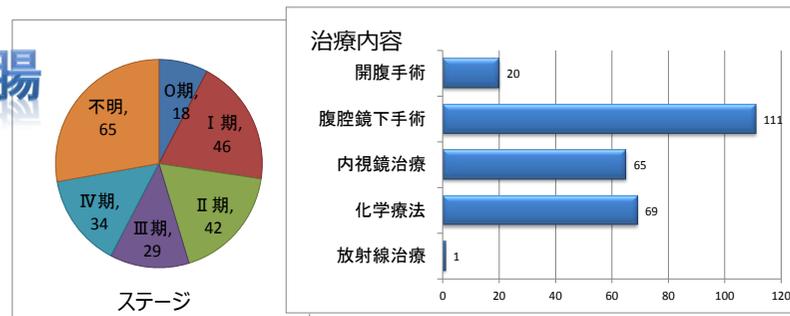
肝
肝内胆管を含む



肝がん ステージ	I期	II期	III期	IV期	不明	計
肝がん ステージ	20	8	6	7	3	44

治療 内容	開腹手術	化学療法	TACE・TAE	放射線	経過観察
治療 内容	12	8	7	1	14

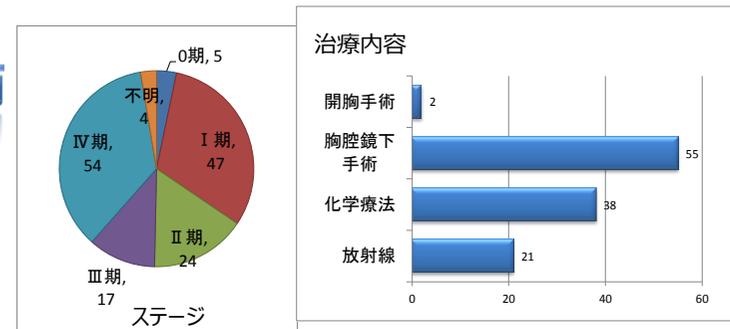
大腸



大腸がん ステージ	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	計
大腸がん ステージ	18	46	42	29	34	65	234

治療内容	開腹手術	腹腔鏡下 手術	内視鏡的 治療	化学療法	放射線	経過観察
治療内容	20	111	65	69	1	35

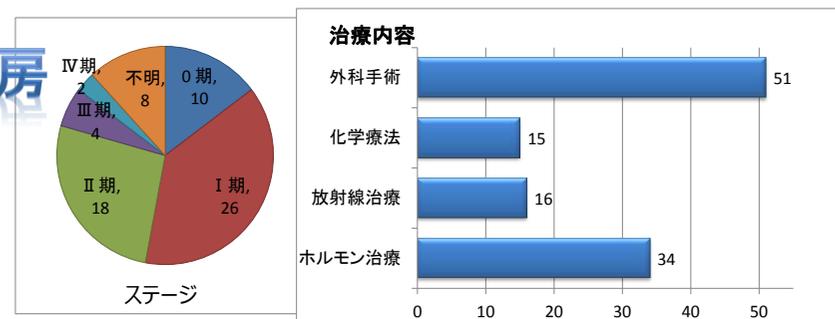
肺



肺がん ステージ	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	計
肺がん ステージ	5	47	24	17	54	4	151

治療 内容	開胸手術	胸腔鏡下 手術	化学療法	放射線	経過観察
治療 内容	2	55	38	21	52

乳房



乳がん ステージ	0期	I期	II期	III期	IV期	不明	計
乳がん ステージ	10	26	18	4	2	8	68

治療内容	外科手術	化学療法	放射線	ホルモン 療法	経過観察
治療内容	51	15	16	34	4

<部位別 ステージ>
当院で治療が開始された症例の治療前ステージ（病期）をまとめました。
ステージ分類は、UICC TNM分類（第7版）に準拠したルールを用いて分類しています。

<部位別 治療内容>
がんの診断後すぐに計画された一連の治療を初回治療と定義し、各治療ごとに件数をまとめました。併用して治療した場合は、各々にカウントしています。がんに対する直接的な治療なく、フォローのみされた場合は、「経過観察」としています。